



よこはま国際フォーラムでセミナーを行いました! (2月8日 JICA横浜) 5回目となるこの催しには、国際語科は第1回から毎年参加しています。最初の2年は「異文化理解」についてのワークショップを運営し、参加者と多文化共生について考えました。3回目からは、東日本大震災以後多くの本校生徒が参加している「瀬谷ボランティアバス(訪問地は釜石市)」の報告と「高校生にできること」を参加者と一緒に考えました。その中の提案から「釜石の高齢者の方との文通」を現在も行っていきます。今回も「ボランティアバス」を中心に、瀬谷区社会福祉協議会の方をゲストに招いたり、LINEで釜石高校の生徒と会場とを結んで意見交換をしたりし、充実した100分のセミナーを行いました。



JICA横浜のロビーには、国際語科のパネルの展示も!



発表前の最後の打ち合わせ。緊張感が走ります!



瀬谷区社会福祉協議会の山本篤さん。瀬谷バスの説明をしてくれました。



「LINE中継」で、釜石高校の寺崎さんと結び、会場で討論!



フォーラムやフェスタに参加したときの報告書も展示しました。



来場者はそれほど多くはなかったのですが、発表者、聴講者を含めて20人の隼人生と一緒に、震災後釜石のために私たちができることについて、後半はアイデアを出し合うワークショップを行いました。4月末に行われる「希望ヶ丘フェスティバル」で、そのアイデアを活かしたいと思います!

聴講に来た隼人生は、その後他のセミナーにも参加していました!

アメリカ語学研修学習発表会 (2月16日) グループごとに、アメリカについて学習した内容を各クラスで発表しました。各クラスごとに1グループ「ベストプレゼンテーション賞」を選び、後日全体で発表します。



ジャパンフェア発表会 (2月16日) 毎年恒例のジャパンフェアのリハーサルを行いました。それぞれ総合的な学習の時間に準備していたので、じっくりと自分以外の班を見るのは今日が初めて。発表を見る側の生徒はお客さん(アメリカ人)の役です。この発表後、さらに磨きをかけて当地でのジャパンフェアの成功を目指します。



ピロティに集合して、準備開始!

武道班の空手の型もきまっています!

踊り班のソーラン節もきれいにそろっています!

ブラウン先生は書道班を見学。

ジェームス先生は茶道班でお点前の見学。

松本先生から 国際語科にとって最後のアメリカ語学研修です。横浜隼人高校の名前をアメリカの高校生や現地の方々に良い思い出として残せるようにおもてなしの精神で頑張ってください。

国際の卒業生が台湾の大学生を連れて来校しました! (1月30日)



↑中国語の話せる生徒が通訳をして、教室の生徒と台湾の大学生が交流しました。

↑台湾の大学に進学した先輩、ガールスカウト活動でスリランカを訪れた先輩、国際語科から看護系の大学に進んだ先輩と、道はさまざま。後輩のためにいろいろな話をしてくれました。

↑台湾の大学生、国際の卒業生と一緒に写真を撮る1-Cのみんな。短い交流でしたが、きっと何かを学んだはず!